



新・長瀬高浜だより

第5号

2024年7月2日発行

令和6年度 発掘調査開始！



重機による表土掘削の様子



4区での畠跡の検出作業



5区での足跡検出作業

詳しい調査成果は次号以降
お知らせします。

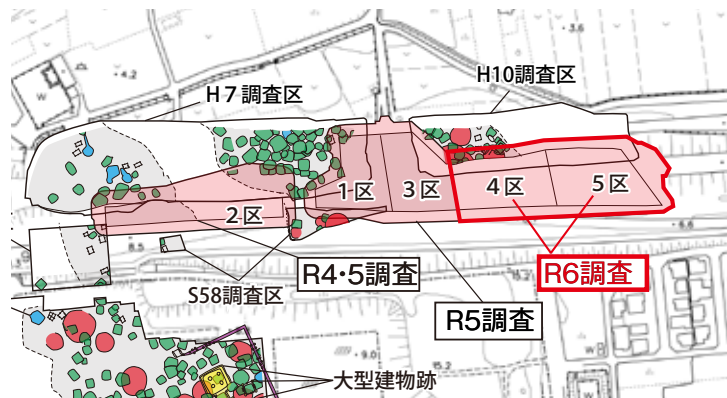


羽久津調査員

【調査の概要】

調査地点：長瀬高浜遺跡4・5区
調査期間：令和6年5月7日～令和6年11月（予定）
調査面積：3,632㎡（4区：1,816㎡、5区：1,816㎡）

公益財団法人 鳥取県教育文化財団 調査室では、遺跡の発掘調査や出土品の整理作業など、埋蔵文化財の調査を行っています。令和6年度は昨年度から引き続き、一般国道9号（北条道路）改築に伴う長瀬高浜遺跡の発掘調査を実施します。砂丘の下に眠る人々の暮らしの痕跡を今年度も「新・長瀬高浜だより」でご紹介します。



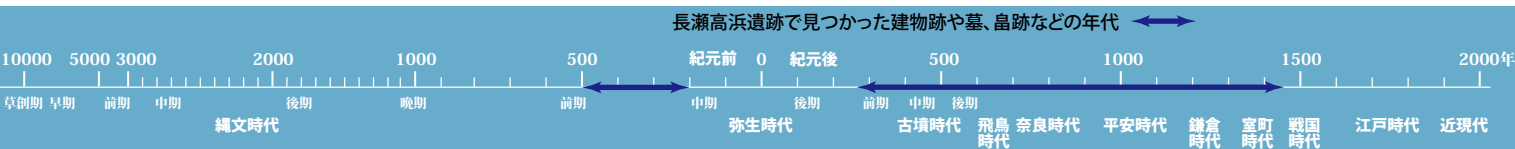
長瀬高浜遺跡調査範囲図（一部）

長瀬高浜遺跡とは？

湯梨浜町にある今から50年前に発見された鳥取県を代表する遺跡の一つ。国の重要文化財に指定された埴輪群をはじめたくさんの貴重な出土品が発見されています。詳しくは右の動画をチェック！



YouTube
で動画
配信中！



昨年度の調査成果

令和5年度の発掘調査では、調査区全体から多数の竪穴建物跡と大量の土器が出土しました。これまでに例のない炭のかたまりかたまりが出土したいろり囲炉裏跡や古墳も発掘。令和6年度の調査でも新たな発見があることでしょう。

どうぞご期待ください！



HPで1~4号公開中！➔



令和5年度調査区全景写真



竪穴建物跡から出土した囲炉裏



続々と出土する土器



古墳（長瀬高浜 103号墳）の石棺

きぬちゃん注目の出土品 !!

きゃくつきさんれんこ 脚付三連壺

昨年きくつきの調査で出土した土器の中に不思議な形をした破片が見つかりました。非常に複雑な形で高坏のような脚の上に小さな壺が3個くっついていて、しかも壺の内部は穴でつながっています。

再現すると右のイラストのようになります。国内でも数例しか出土がない珍しい土器で、日用品ではなく儀礼用などの特別な土器かもしれません。

ナゾすぎる土器だな！



▲出土した
脚付三連壺の破片

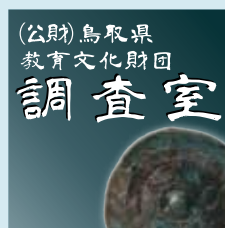


脚付三連壺の復元イメージ図▲

最新情報コーナー

発掘調査の最新情報はホームページやFacebookでチェック！YouTube公式チャンネルでは、遺跡の解説動画や発掘現場レポートを配信中です！

ホームページ



発掘や整理作業でわかった最新情報を随時発信します！



YouTube



きぬちゃんが調査成果を楽しくりレポート！チャンネル登録よろしくね！



発行機関

公益財団法人 鳥取県教育文化財団 調査室

〒682-0704 東伯郡湯梨浜町南谷 528-1
TEL: 0858-35-5335 FAX: 0858-35-5336
HP: http://kyo-bun.sakura.ne.jp/chosasi_tsu.html

